

(第1-1号様式)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 13日

奈良県知事 殿

提出者

住 所 奈良県葛城市東室158-1

氏 名 株式会社きんでん 高田営業所  
所長 岡村 秀仁

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0745-69-6721

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項及び奈良県産業廃棄物処理計画作成指導要綱第5の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社きんでん 高田営業所
事業場の所在地	〒630-2102 奈良県葛城市東室158-1
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D08 設備工事業
② 事業の規模	完成工事高 2,900百万円
③ 従業員数	90人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	排出した産業廃棄物の処理は中間処理業者、最終処分業者に委託している。 中間処理業者により中間処理施設にて選別・破砕処理、リサイクルに可能なものはリサイクル化し、リサイクルできないものは、最終処分業者により埋立処分が行われる。

(日本工業規格 A列4番)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙1参照

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	建設混合廃棄物
	排出量	115.85 t	994 t
	(これまでに実施した取組)  発生する廃棄物の種類ごとに性状を確認し、可能な限り実測している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	建設混合廃棄物
	排出量	100 t	900 t
	(今後実施する予定の取組)  上記の取組みを更に推進する。		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物の発生量を可能な限り実測することで、適正に把握するとともに、分別処理することにより、廃棄物の発生抑制に努める。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記の取組みを更に推進する。

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	建設混合廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	建設混合廃棄物
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	建設混合廃棄物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	建設混合廃棄物
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	建設混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	建設混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	建設混合廃棄物
	全処理委託量	115.85 t	994 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	115.85 t	994 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
処理業者の最終処分率を確認する。			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	建設混合廃棄物
	全処理委託量	100 t	900 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	100 t	900 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
優良認定処理業者の採用を推進し、可能な限り処理を委託する。			
※事務処理欄			

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙1参照

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	排出量	52.25 t	t
	(これまでに実施した取組)		
発生する廃棄物の種類ごとに性状を確認し、可能な限り実測している。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	排出量	50 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
上記の取組みを更に推進する。			

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物の発生量を可能な限り実測することで、適正に把握するとともに、分別処理することにより、廃棄物の発生抑制に努める。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記の取組みを更に推進する。

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	全処理委託量	52.25 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量		t
	再生利用業者への処理委託量	52.25 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t
	(これまでに実施した取組)		
処理業者の最終処分率を確認する。			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	全処理委託量	50 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量		t
	再生利用業者への処理委託量	50 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t
	(今後実施する予定の取組)		
優良認定処理業者の採用を推進し、可能な限り処理を委託する。			
※事務処理欄			